

取扱説明書

JX-CV ダクト式無煙ロースター

形名 JX-CV (本炭タイプ)
(JL-C)

- このたびはロースターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に この取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解して下さい。
- お読みになった後は いつも手元においてご使用下さい。

もくじ

安全上のご注意	1
各部の名前	3
準備	4
使いかた	6
お手入のしかた	8
仕様	10

株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ 正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。

- ガス漏れに気づいたときはすぐに機器の使用をやめ、ガス栓を閉じ、窓や戸を開放し、ガスを外に出し、販売者またはガス供給者に連絡し、全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないこと。炎や火花で引火し、爆発事故の原因になります。
- 本体に貼ってある銘板のガス種以外では使用しないこと。
異常燃焼で火災、火傷や一酸化炭素中毒の原因になったり、機器が故障することがあります。不明な場合は、販売者またはガス事業者にご連絡してください。
- 引越しや移設をされたときは、供給ガスの種類と機器銘板のガス種が一致していることを、必ず確かめてください。
- 可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶、ガソリン、ベンジン、接着剤、石油缶など）のものを機器の上やまわりに置いたり、使用したりしないこと。
焦げたり燃えたりして火災の原因になります。
- 棚の下など、落下物の危険のあるところに設置しないこと。
機器の上に落ちたものが燃えて、機器が破損したり、火災の原因になります。
- 機器を設置した後、機器の周辺の改造をしないこと。
設置基準上問題となる場合があり、不完全燃焼や火災の原因になります。
- 水槽に水が入っていない状態で使用しないこと。
火災の原因になります。
- 絶対に分解したり改造はしないこと。
異常動作したり故障の原因になります。
- 使用時には換気扇を回し、必ず換気すること。
換気しないと室内の空気が汚れて不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります。

- 地震、火災など緊急時や、使用中に異常な燃焼、臭気、音等ふだんと違った状態になったとき、不都合が生じたときには、ただちに使用を中止すること。
火災、火傷、一酸化炭素中毒の原因になります。

- 強い風の吹き込むところや屋外に設置しないこと。
性能が十分に発揮できなかつたり、炎が消えたり、風にあおられて周囲のものの過熱の原因になることがあります。

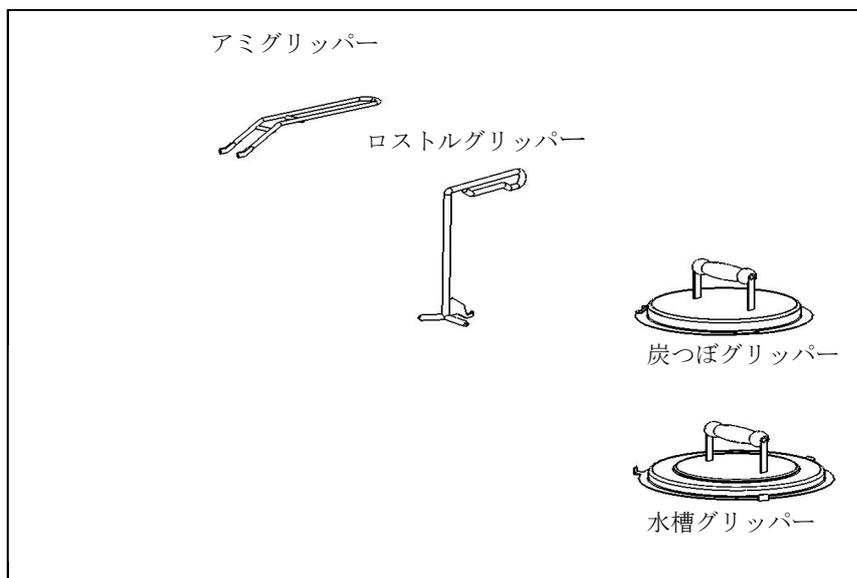
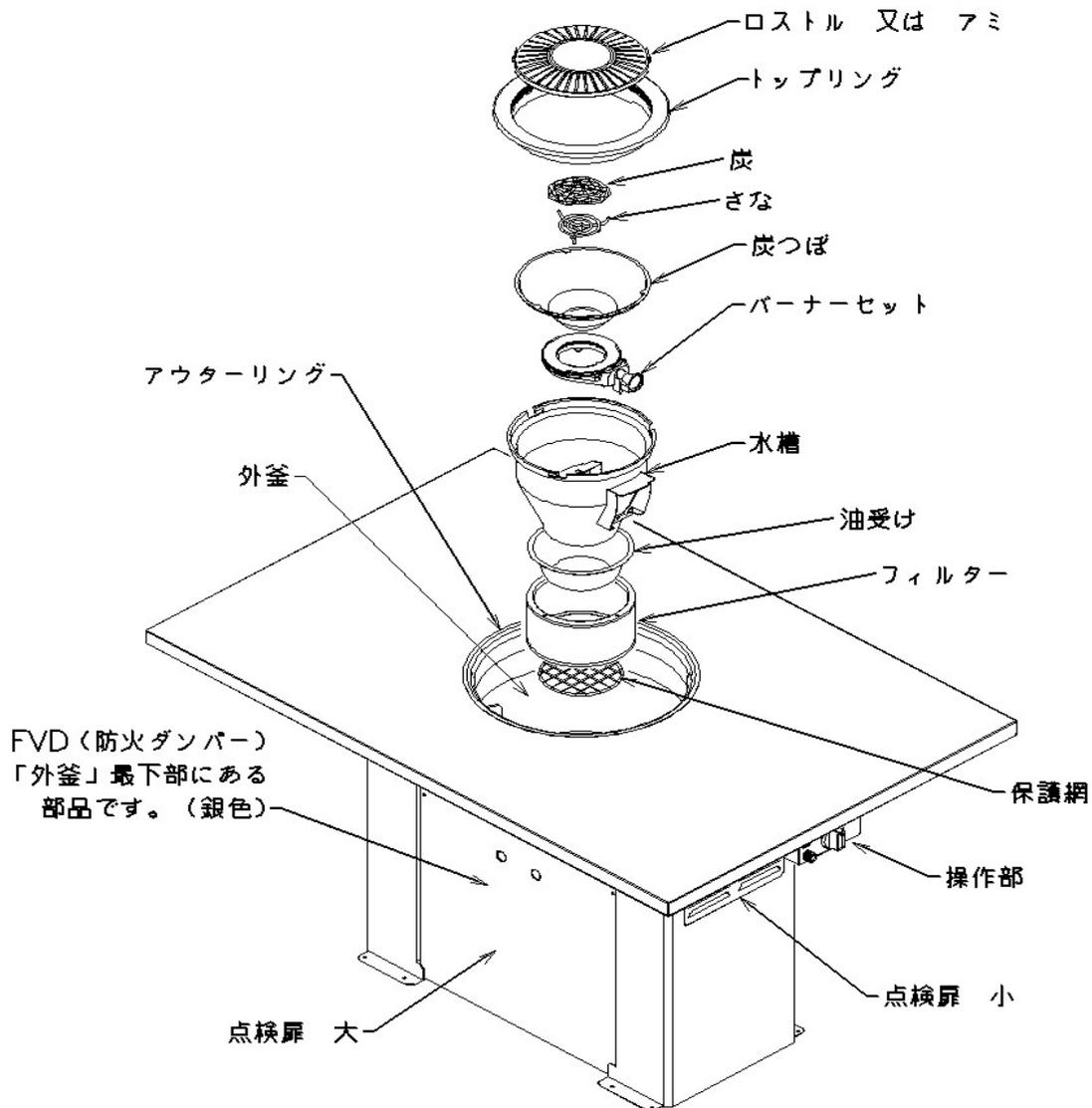
- 安定性の良い丈夫で水平なところに設置すること。
不安定で傾いたところに設置すると、機器の落下や異常加熱などによって、ケガや火傷の原因になることがあります。

- 点火のときや使用中はバーナー付近に顔を近づけすぎないこと。
火傷の原因になります。

- 使用中および使用直後は、網や機器本体と、その周辺が熱くなっているので、操作部以外は触らないこと。
火傷の原因になります。

- 使用中および、使用直後は焼網や水槽、炭つぼ、さな、それら周辺部は高温になっているので、持ち運びの際は、落としたり、こぼしたりしないように注意すること。
火傷の原因になります。

各部の名前

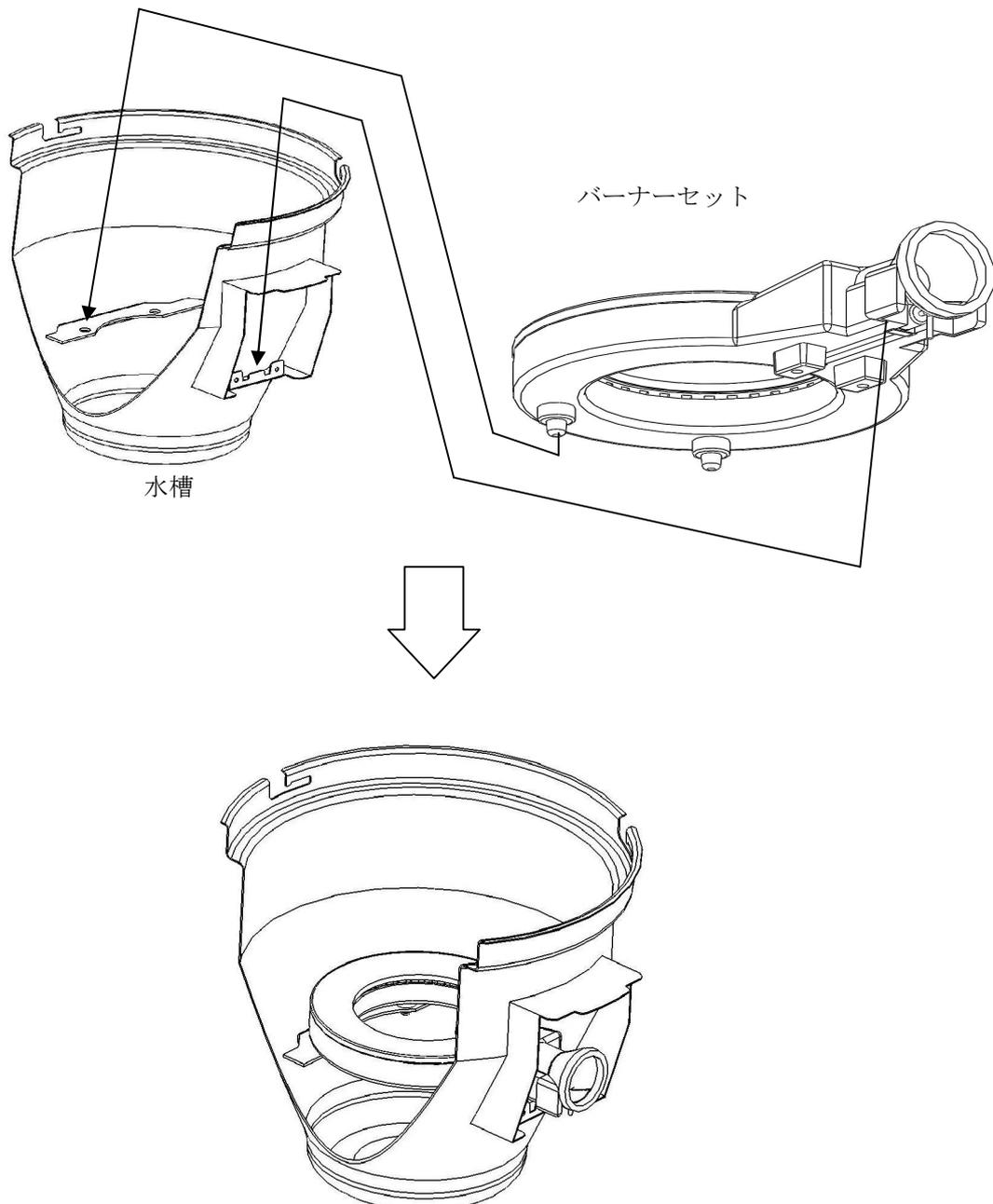


準備

(各部の名前は 3 ページを参照してください。)

各用品のセット

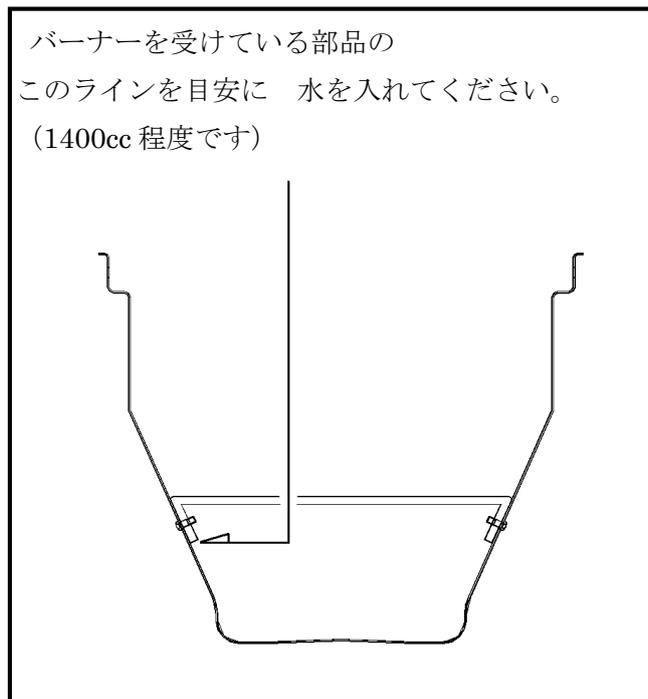
1. 「フィルター・油受け・保護網」をセットして下さい。
2. 「水槽」「バーナーセット」をセットしてください。
 - ※1 あらかじめ「水槽」に「バーナーセット」をセットしてから「水槽」を本体に入ると、簡単にセットできます。
 - ※2 「バーナーセット」を「水槽」にセットする際は下図の様にしっかりとセットしてください。セットが不十分だと **立消え**や**異常燃焼**の原因となります。



3. 「水槽」に水を入れてください。

※1 適量は 1,400cc です。

※2 水を入れる際にバーナーに水がかかると、着火不良や
燃焼不良の原因となります。
十分に注意してください。



4. 「炭つぼ」「さな」「トッピング」をセットしてください。

5. 「炭」を「さな」の上に ならべてください。

※「炭」の適量は 約 500 g です。

※「炭」を重ねる際に 底には「消し炭」を用いると 早く着火できます。

ー以上で準備は完了ですー

使いかた

点火、火おこしと火力調節

点火前に必ず換気扇を運転して下さい。

不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の恐れがあります。

1. 「送風ファンのスイッチ」を OFF にし、「送風ファンのつまミ」を左いっぱいまで回して「弱」にします。
2. 「コックのつまミ」を押しながら左（「強」の方向）へゆっくり止まるまで回します。

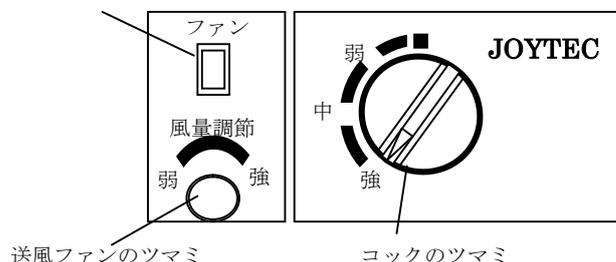
※「コックのつまミ」を回すと自動的にロースターに電源が入ります。

- ・つまミを押したまま数秒間そのまま保持して下さい。
- ・「チチチ…」と音がして点火します。

初めて使う時や、しばらく使わなかったときは、すぐに点火しない場合や点火してもつまミから手を離すと消える場合があります。

その場合には コックのつまミを一度、閉の位置まで戻し、しばらく待ってから、改めて操作を行なって下さい。

送風ファンのスイッチ



3. バーナーにガスが点火したら 「送風ファンのスイッチ」を入れ「送風ファンの风量」を「強」にします。
 - ・送風ファン「強」、ガス炎「強」の状態が炭に早く着火します。
4. 炭にある程度 火がついたら、ガスを止めます。（目安は点火後 10 分程です）
（コックのつまミを右に回すまで（■の位置まで）回します。）

(1) 送風ファンの风量つまミにて、火力調節をして下さい。

- ・お客様が肉を焼いている途中、お店の方は炭火の状態に注意してください。
- ・炭が燃焼し、火力が弱くなったら追い炭をして下さい。

- (2) 送風ファンが回って（送風ファンのスイッチが ON の状態）おり、ガス火が着いていない状態にて、ガス火を着火させる場合には、最初の点火の時と同じように、「送風ファンのスイッチ」を一度 OFF にし、「送風ファンのツマミ」を左いっぱい回して「弱」にしてから、ガス火を点火させてください。

- ・送風ファンが回ったまま着火しようとする、送風にあおられて、着火の為の種火が飛びにくくなります。

注意とお願い

- ・お客様の変わり目などで、網を交換する時、「水槽」の水量を確認して下さい。もし少なくなっていたら水を追加して下さい。空水の状態が続くと器具内の温度が上がり 内蔵されたセンサーがそれを検知し、ブザーで知らせると同時に ガスを遮断します。

※「炭つぼ」は高温になっていますので、着脱は専用のグリッパーを用いて下さい。

消火（ご使用后）

1. 送風ファンのスイッチを切ります。
2. ガスコックのツマミが閉の位置（■ 印）になっているか確認して下さい。
3. 排気ファンスイッチは消火後、しばらくたってから消して下さい。
 - ・器具内を冷却させます。
4. 残り炭は、消しツボで消火します。
 - ・残り炭の扱いには十分注意して下さい。
 - ・消し炭は、次回の火おこしに再利用できます。

お手入のしかた

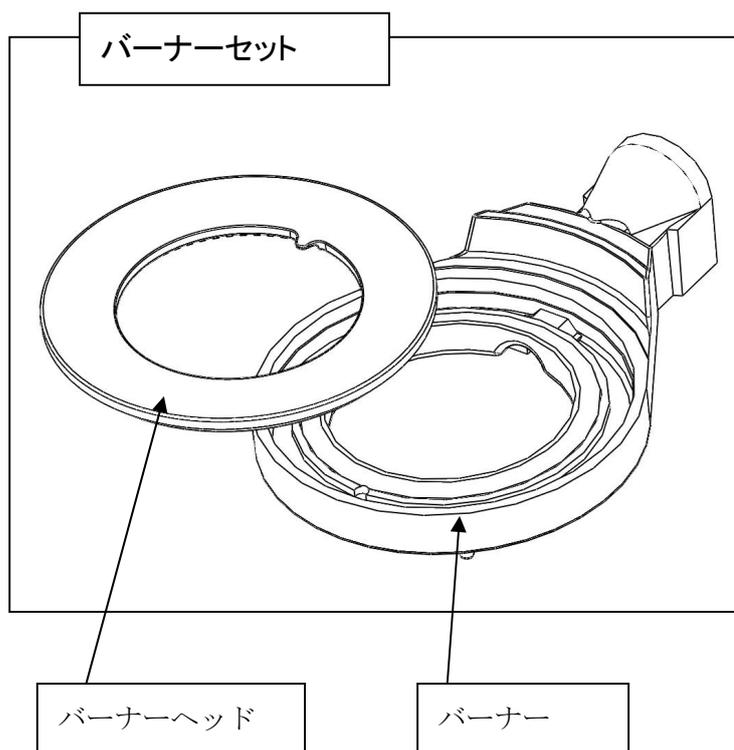
1. トップリング・さな・炭つぼ・水槽

- ・毎日、専用洗剤[オープクリーナーFF/D9]（3～5倍希釈）で洗って下さい。
- ・乱暴に扱うとホーロー製品はヒビや変形がおこり異常燃焼の原因となります。
- ・トップリングは かたい目のスポンジタワシ等でスジにそって磨き込んで下さい。

2. アウターリング

- ・中性洗剤で 洗って下さい。
- ・かたい目のスポンジタワシ等でスジにそって磨き込んで下さい。

3. バーナーセット



・バーナー

水洗い、又は漬けおき洗い、食器洗浄機などで洗浄してください。

その後、完全に乾燥させてからセットしてください。

汚れがひどいと燃焼不良の原因になります。

・バーナーヘッド

炎孔の目詰まりなどを取り除いてください。

水洗いしたときは完全に乾燥させてからセットしてください。

炎孔が詰まっていると不完全燃焼の原因となります。

4. フィルター

- ・一週間に一度は専用洗剤「オープンクリーナーFF/D9」（3～5倍希釈）に2時間以上、
浸けおきしてきれいな水等ですすいだ後、十分に乾かして使用して下さい。
- ※汚れがひどくなると、排気ファンの能力を大幅に低下させます。

5. 外 釜 ・ 油 受 け ・ 保 護 網

- ・使用頻度にも異なりますが、定期的に汚れを拭き取って下さい。
「外釜」に汚れが溜まっているとダクト火災の原因になります。

6. FVD（防火ダンパー）

- ・定期的に、ウエス等で汚れを拭き取って下さい。
- ※油脂による汚れが固着すると、防火の動作に支障をきたし火災原因になります。
- ※FVD が作動した場合（炎が排気経路に流入したときに作動します。）は
内部の温度ヒューズを交換してください。
その後、再びセットしてください。

仕様

- ・形名 JX-CV (本炭タイプ)
- ・焼き方 網 又は ロストル
- ・水槽水量 1,400 cc
- ・電源 100V 50/60Hz 共用
- ・消費電力 16 W
- ・ガス消費量 都市ガス : 3.84 kW (3,300 kcal/h)
LPガス : " (0.27 kg/h)
- ・点火方式 連続スパーク方式
- ・安全装置
 - ・ダクト遮断装置
 - ・異常過熱時にブザー鳴動

株式会社 中部コーポレーション 本社 〒511-0944
三重県桑名市芳ヶ崎堂ヶ峰 1533-1

東京営業所 Tel. 03-5833-9968

名古屋営業所 Tel. 0594-32-1130

大阪営業所 Tel. 06-6788-2251

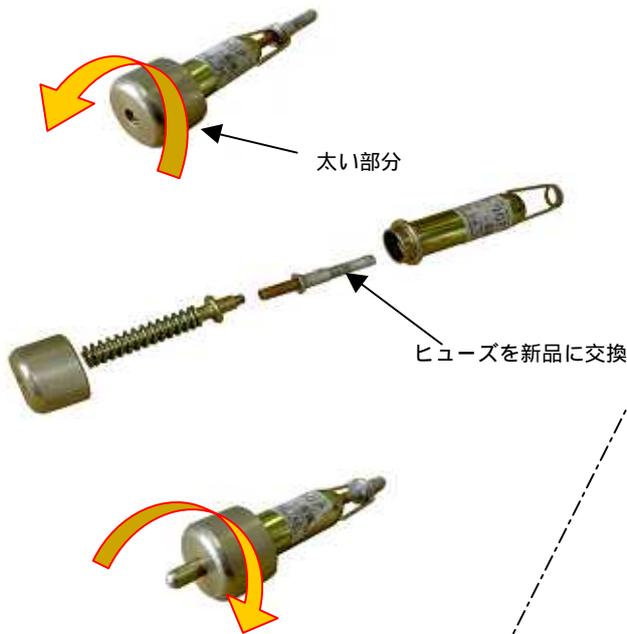
福岡営業所 Tel. 092-474-1312

温度ヒューズ交換方法

下記の「1」～「5」の手順に従って
確実に実施してください。



1. ヒューズホルダーを外れるまで左に回し、防火ダンパー (FVD) から抜き取ってください。

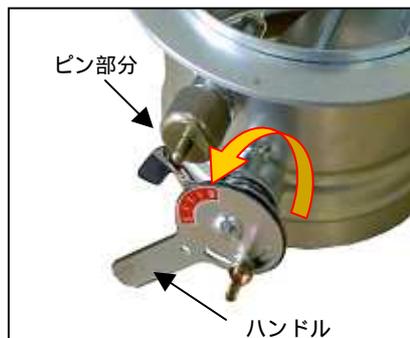


2. ヒューズホルダーの一番太い部分のみを左に回し、写真のように分解してください。

3. ヒューズを新品に交換し、「2」で分解した逆の手順で組み立ててください。

4. ヒューズホルダーを防火ダンパーに差し込んで、右回しに、奥までしっかりとねじ込んでください。

5. 最後にハンドルを左に回して、ピン部分がロックされれば完了です。



注意とお願い

- ・温度ヒューズは重要な安全装置です。必ず専用の温度ヒューズを使用してください。
- ・温度ヒューズが無くなったときには、販売店もしくは弊社まで ご注文ください。